

野生鳥獣による農作物等被害の概況

農作物被害

平成22年度の野生鳥獣による農作物被害額は4億3,589万円で、対前年度比138%、1億2千万円の増。被害面積は419haで、対前年度比107%、27haの増。

地域別では、東予5,911万円(14%)、中予1億3,098万円(30%)、南予2億4,580万円(56%)で、被害額の6割近くが南予。22年度は、松山市でイノシシやヒヨドリによる果樹被害が急増。

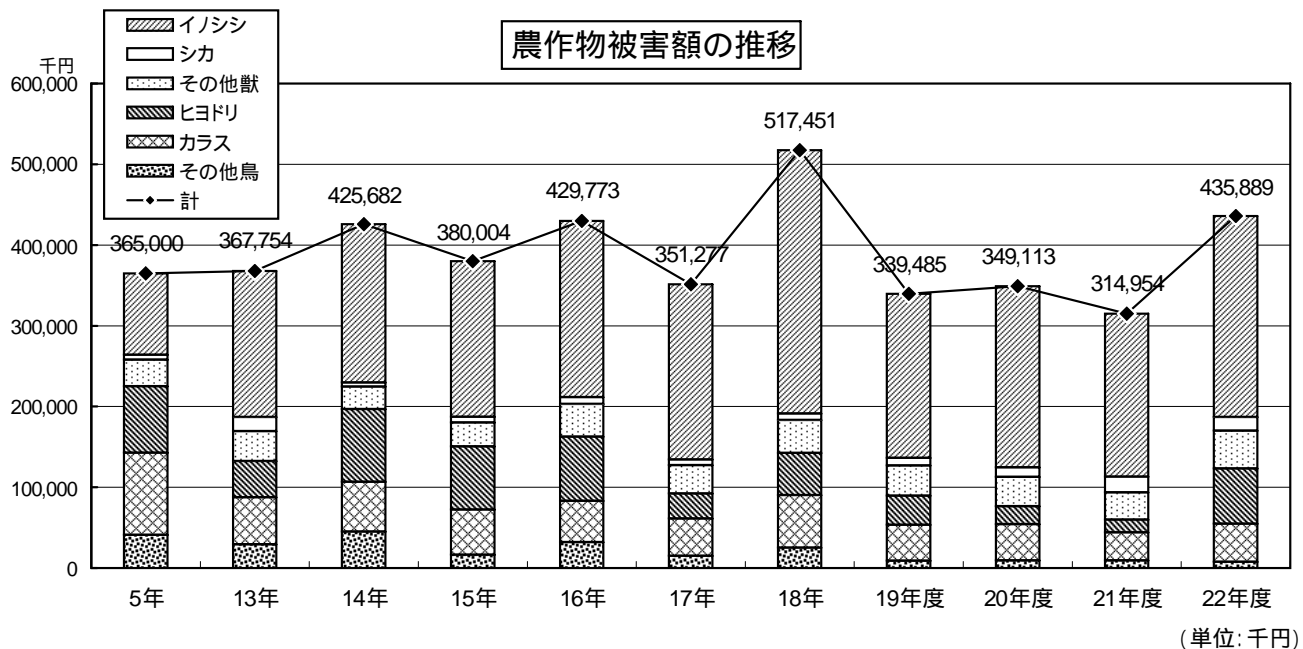
鳥獣別では、イノシシが2億4,888万円で57%、次いでヒヨドリが6,847万円で16%。従来からイノシシ被害が過半を占めるが、22年度は、ヒヨドリ被害が前年度の4倍強に急増。

ニホンジカは1,688万円で4%だが、南予4市町に被害集中。

作物別では、果樹が3億425万円で70%。前年度からの被害額増加のほとんどは、果樹被害1億円強の増による。

森林被害

森林の被害面積は190haでほぼ前年度並み。被害の89%はニホンジカ。



(単位: 千円)

	5年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年度	20年度	21年度	22年度
獣類	140,000	235,295	228,787	229,341	266,935	258,992	375,086	249,911	272,556	255,088	312,439
イノシシ	101,000	180,751	195,785	192,729	218,132	216,987	326,018	203,076	224,357	201,746	248,884
シカ	6,000	17,400	5,350	6,996	8,388	6,847	8,089	9,417	11,881	19,439	16,884
その他獣	33,000	37,144	27,652	29,616	40,415	35,158	40,979	37,418	36,318	33,903	46,671
鳥類	225,000	132,459	196,895	150,663	162,838	92,285	142,365	89,574	76,557	59,866	123,450
ヒヨドリ	82,000	44,740	89,969	78,355	79,620	30,894	52,018	35,903	22,188	15,591	68,474
カラス	102,000	58,251	61,884	55,636	51,299	46,224	65,090	44,643	44,852	34,948	47,148
その他鳥	41,000	29,468	45,042	16,672	31,919	15,167	25,257	9,028	9,517	9,327	7,828
計	365,000	367,754	425,682	380,004	429,773	351,277	517,451	339,485	349,113	314,954	435,889

(全国の被害概況)

21年度の農作物被害額は約213億円で対前年度比107%。獣類ではシカが最も多く71億円で33%、次いでイノシシが56億円で26%。鳥類ではカラスが最も多く23億円で11%。

()22年度の全国被害は未集計